

# フランスの仕組みに学ぶ 勤務医の労働時間、週35時間

女性医師・歯科医師の労働環境の改善には日本の医療人の労働環境の改善が不可欠。

女性医師・歯科医師の会は10年12月4日、「生き生き働けるフランスの労働者、社会の仕組みに学ぶ」をテーマに都留民子女子(県立広島大学保健福祉学部教授)を招き、「女性の生き方を見つめる学習会」を行い、19人が参加した。



「医療現場の実態を知らせ、国民を巻き込んだ運動が必要」と語る都留民子女子=10年12月4日、保険医会館

フランスは女性や子育て政策に非常に力を入れており、20種類近い家族手当や出産後も離職しない生活スタイルを守る育児休業・保育制度が整っている。また、これらに加え医療・教育が無償であることが出生率アップにつながっている。

都留氏は、日本とフランスのGDP(国内総生産)や失業率・貧困率などのデータを紹介し、「フランスのGDPは日本の半分だが、社会保障費・教育費に占める予算はGDP比で2倍ほどである。予算をどのように使うのが問題である」とした。フランスでは勤務医の労働時間も週35時間と定められており、日本の勤務医の平均63時間と比べ優遇されている。

## 医療人にふさわしいメイク 実技交えテクニックも紹介

南河内地区



「顔はその人の看板である」と語る角谷安規子氏=10年12月12日、保険医会館

協会の南河内地区は、10年12月12日、「医療人にふさわしい最新のメイクアップテクニック」を講師は関西医科大学形

これらはフランスの医師・医療従事者の待遇改善や診療報酬引き上げを求めるデモ・ストなどによる運動の成果であるとし、「日本の医療現場の実態を知らせ、改善を進めるためには医師・歯科医師の団体として国民が必要である」と協会・女性医師・歯科医師の会への活動にエールを送った。

角谷氏は、歯科医院では患者さんと近い距離で応対するので、患者さんからどう思われるかを念頭におきながらメイクすることが重要であるとし、顔は他者から見るとその人の看板であることや、メイクの心理的な効果などを説明。実技を交え細かいテクニックも紹介しながら医療人にふさわしいメイクを丁寧に解説した。

講習会終了後は、眉毛を整えてもらったり、自分に合う色が何色かを個別に聞かされた。満足気分で、参加者は、鏡に映る自分の顔を見ていた。

成外科学講座研究員の角谷安規子氏。

角谷氏は、歯科医院では患者さんと近い距離で応対するので、患者さんからどう思われるかを念頭におきながらメイクすることが重要であるとし、顔は他者から見るとその人の看板であることや、メイクの心理的な効果などを説明。実技を交え細かいテクニックも紹介しながら医療人にふさわしいメイクを丁寧に解説した。

講習会終了後は、眉毛を整えてもらったり、自分に合う色が何色かを個別に聞かされた。満足気分で、参加者は、鏡に映る自分の顔を見ていた。



櫓形の欄干と、里程元標の跡に建つ石碑(右側)

江戸(東京)八百八町、京(京都)八百八寺、そして、大坂(大阪)八百八橋と江戸時代は言われていた。もちろん、そんなに橋があったわけではなく、他所と比べて多か

ったことだが、昔の大坂・旧東西南北に橋が多いと感じられるだろうか？

江戸期までは、物流の中心は船だった。特に大坂の西側は町人の町とし

### 中央区 高麗橋

## 政治と商業、東西の起点

多くの堀川が張り巡らされてきた。明治期以降、次第に埋め立てられて現在のようになつた。橋もないのに、桜橋、心齋橋、四ツ橋。島でもないので、堂島、島之内な

る。その3番目の橋が高麗橋だ。規模では、大川(昔はここが淀川の本流)にかかっていた三つの大橋、難波橋・天神橋・天満橋に負けるが、当時の重要性では負けていない。高麗橋の東は京街道につながり、西には城と市中を結ぶメインストリートに連なっている。また、近くに八軒家船着場

が、この橋を渡って、堺筋から熊野街道につながっていた。

今は、御堂筋を代表するように、横の「通り」より、縦の「筋」のほうが道幅も大きく重要だが、町名が通りに沿ってつけられているように、昔は逆だった。道幅も、

る、船場の北端は米市のある堂島や、各大名の蔵にも近いこともあって、豪商たちの屋敷が集中していた。城代と協議をしたときは、ここを通って大阪城に入ったのだろう。

上記した三大橋は「筋」に連なっているが、高麗橋は「通り」に連なっているから、そこでも重要性がわかると思う。また、江戸の日本橋と同様、西国の里程を測るときの出発点(里程元標)が橋の東

## おどろか ウォーミングアップ

225

橋は「通り」に連なっているから、そこでも重要性がわかると思う。また、江戸の日本橋と同様、西国の里程を測るときの出発点(里程元標)が橋の東

の交差で四つの橋があった四ツ橋、船を通すために中央を高くした、難波橋の反り橋なんかもみんなくなつた。昔の人は、橋を眺めて楽しんだことだろう。洪水によるかけ替えや、定期的な修理は、今の橋とは比較にならないくらい大変だったと思う。高麗橋は、明治に大阪では最初に鉄橋になった。その後、昭和になり、ここが城の外堀に位置し、櫓があったことから、櫓形の欄干のコンクリート橋に作り替えられた。東詰には、里程元標跡の記念の石碑が当時の面影を残すようにひっそりと建っている。

(新聞部・谷聰)

講習会へ参加ご希望の方は、必ず事前に協会までお申し込み下さい。

## 協会行事案内

お申し込みは 電話 06-6568-7731  
ファクス 06-6568-0564

### 三島地区講習会

#### 「小児と障害児者の治療と対応」

日時 1月29日(土) 午後6時〜7時30分  
会場 茨木市福祉文化会館101号室(JR「茨木」駅、阪急「茨木市」駅から徒歩10分)  
講師 人見さよ子氏(大阪歯科大学小児歯科学講座 助教)  
会費 会員無料、未入会者1万円 定員 40人

### 確定申告講習会

#### 「税理士任せにしない確定申告のポイント 税制の改定点と医療税制の特殊性」

日時 2月19日(土) 午後3時〜5時  
場所 保険医会館 定員 50人  
講師 柄溝宗生氏(協会顧問税理士団)  
会費 会員無料、未入会者1万円

### 2月年度生涯研修

#### 「歯科における、精神疾患を持つ患者治療のアドバイス—発達障害を持つ患者への対応—」

日時 2月20日(日) 午前10時〜午後0時30分  
会場 M&Dホール 定員 100人  
講師 清水聖保氏(清水クリニック院長(精神科医))  
会費 会員3千円、未入会者1万円

### 「社保講習会」

日時 2月26日(土) 午後6時〜8時  
会場 M&Dホール 定員 100人  
講師 社保研究部講師団  
会費 会員無料、未入会者1万円

内容 第1回(初・再診料、医学管理料、訪問診療) 第2回(3月26日(土))「検査、画像診断、処置、手術」、第3回(4月23日(土))「歯周疾患、歯冠修復、ブリッジ、有床義歯」

※「歯科保険診療の研究」(2010年4月版)、「2010年改定の要点と解説」をご持参ください。

### 「確定申告個別相談会」

日時 2月26日(土) 3月12日(土) 日曜除く  
①午前10時〜 ②午後1時〜 ③午後3時〜  
場所 保険医会館 会費 2万円(※)  
講師 協会顧問税理士団  
※医療以外の所得や複数人数分のご相談には別途費用が生じます。

### 大阪市西部地区主催

#### 「歯科領域に関連の深いアレルギー疾患」

日時 2月27日(日) 午前10時〜正午  
会場 M&Dホール 定員 100人  
講師 曾和順子氏(大阪市立天学大学院医学研究科 皮膚病態学講師)  
会費 会員無料、未入会者1万円

未入会者とは、会員院所に勤める勤務医未入会者です

※協会行事などを本紙等で報道・紹介するため、講習会などの写真で個人が特定されることがありますが、趣旨をご理解の上、ご了承ください。また、講習会でのビデオ撮影や録音はお断りします。